



日韓国交正常化
50周年記念事業

日韓 近代美術家の まなざし

「朝鮮」で描く

한일 근대 미술가들의 눈 — “조선”에서 그리다

Korean and Japanese Modern Artists in the
Korean Peninsula, 1890s-1960s



美でつながり、
美術が始まる。

日韓の近代美術の秀作約2000点が一堂に会する初の展覧会!

2015 2016
12.17 [木] — 2.2 [火]

休館日: 水曜日、年末年始 (12月26日—1月1日)

開館時間: 午前10時—午後8時 (入場は午後7時30分まで)

17 December to 2 February 10:00-20:00 (Last Admission at 19:30)

Closed on Wednesdays, 26 December - 1 January

主催: 福岡アジア美術館、読売新聞社、美術館連絡協議会、FBS福岡放送
後援: 外務省、駐日韓国大使館、韓国文化院、駐福岡大韓民国総領事館、
韓国観光公社福岡支社

協賛: ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、
株式会社大東園

KOREAN AIR **LG Electronics**

助成: **ポーラ美術館財団**
POLA ART FOUNDATION

監修: 金炫淑 (成均館大学校 兼任教授)

学術協力: 韓国国立現代美術館、金恵信 (沖縄県立芸術大学 准教授)、
横須賀美術館、本展研究会 協力: 光州市立美術館



福岡アジア美術館

Fukuoka Asian Art Museum

〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1リバーラインセンタービル7・8階
7-8F Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, 812-0027 Japan
Tel: 092-263-1100 Fax: 092-263-1105 <http://faam.city.fukuoka.lg.jp/>

李惟台【イ・ユテ】《和音》1944年
韓国国立現代美術館

約2000点が一堂に会する初の展覧会！

日韓の近代美術の秀作



浅川伯教《朝鮮人作陶像》
制作年不詳 石水博物館

本展は、20世紀前半の日本と韓国の美術、そして美術家どうしの交流に焦点をあてた展覧会です。日本による朝鮮半島の統治という社会的矛盾に満ちた「近代」において、日韓両国の美術家たちは、自らをとりまく世界の限界や苦難、葛藤を抱えながらも、それを乗り越えようとするまなざしをもち、豊かな表現活動を行いました。藤島武二や山田新一、荒井龍男、山口長男、浅川伯教・巧など、韓国にゆかりの深い日本近代美術を代表する作家たち。高義東[コ・フィドン]や李仁星[イ・インソン]、李仲燮[イ・ジュンソプ]、金煥基[キム・ファンギ]、李快大[イ・クェデ]など、日本との交流をもつ韓国近代美術の巨匠たち。彼らの代表的な作品に加えて、これまでほとんど注目されてこなかった戦前の在「朝鮮」日本人作家の作品なども、最新の研究成果をふまえてご紹介いたします。



李仁星[イ・インソン] 《黄色いワンピースの婦人像》
1934年 個人蔵



藤島武二《アルチショ》1917年
東京国立近代美術館



具本雄[ク・ボマン] 《人形がある静物》
1937年 サムスン美術館リウム



李仲燮[イ・ジュンソプ] 《夫婦》
1953年 韓国国立現代美術館



中澤弘光 《朝鮮歌妓》
1940年 京都市美術館



劉永國[ユ・ヨングク] 《作品》
1940年 劉永國美術文化財団

オープニングイベント

韓国観光公社福岡支社スペシャル
【舞踊とカヤグム演奏(仮)】
●月●日(●)●●●
彫刻ラウンジ(7階)

映画上映

ふたつの祖国、ひとつの愛
～イ・ジュンソプの妻～(2015年)
画家イ・ジュンソプと結婚した山本方子氏の愛を描くドキュメンタリー。

朝鮮海峡(1943年)
志願兵となる朝鮮人エリート青年とその妻の波乱の人生を描き、当時大ヒットした映画。

【スケジュール】 1月22日(金)1月29日(金)18:00～20:00 「朝鮮海峡」
1月23日(土)14:00～18:00 「ふたつの祖国、ひとつの愛」「朝鮮海峡」
【会場】あじびホール(8階)※上映時間は変更になる場合があります。
【入場料】無料(本展観覧券の提示をお願いすることがあります)

韓国の食と服飾の文化を満喫

韓国海苔巻き「キムパッ」を巻こう！

韓国の食文化のお話しと、キムパッのデモンストレーション。また、家庭的なキムパッ & 大東園スペシャルキムパッの2本を巻くのにも挑戦します(巻いたものはお持ち帰りいただけます)。

【講師】歐成淑[ユウ・ソンスク]氏(焼肉・冷麵「大東園」オナマの手料理担当)
【日時】1/19(火) & 1/26(火) 各日11:00～12:30
【会場】カフェ(7階) 【参加費】1500円 【定員】各20名 要申込

チマ・チョゴリで巡る展覧会

韓国のチマチョゴリの試着と作法を体験したあと、そのまま会場に移動し、出品作品に描かれた当時の韓国の生活のお話しをうかがいます。

【講師】李善姫[イ・ソニ]氏(冷泉荘ソニ韓国語教室主宰)
【日時】1/15(金) & 1/24(日) 各日10:30～12:30 14:00～16:00
【会場】あじびホール(8階)および本展会場(7階)
【参加費】2000円、および本展観覧券が必要です。【定員】各15名 要申込

※申込方法

各イベントの参加申込は、必要事項(1参加イベント名と日時、2参加者氏名、3連絡先)を明記の上、FAXまたはHPより1月10日(日)までにお申込ください。なお、2名様までご一緒にお申込みいただけます。また、応募者多数の場合は抽選となります。

もっと知りたい韓国アート

学芸員とまわる展覧会
12月18日(金)19日(土)
13:00～13:45

解説ボランティアが案内する韓国アート
本展から常設展示室で開催中の「韓国アート1965-2015」までをご案内します。
1月の木・金曜(1/7、1/8、1/14、1/15、1/21、1/22、1/28、1/29)14:00～15:00

読み聞かせボランティアによる大人のための韓国絵本朗読会
会期中の土曜(12/19、1/9、1/16、1/23、1/30)11:30～

※「もっと知りたい韓国アート」の各プログラムは、いずれも会場内で開催のため、本展観覧券が必要です。

公開研究会

戦前期の日韓美術交流(民族藝術学会研究例会)
【日時】1月30日(土)14時～17時
【会場】あじびホール(8階) 聴講無料
※詳細は別途当館HPでお知らせします。

耳より情報

夜の美術館から「Xmasプレゼント」
12月25日 17時以降の入場無料。

New Yearの「お年玉」
1月2日・3日 和服または韓服をお召しのお客様は入場無料。

本展⇄マルモッタン・モネ美術館所蔵 モネ展(福岡市美術館、12/22～2/21)
本展会期中(12/17～2/2)に、半券提示でもう一方の展覧会料金金が団体割引になります。

半券提示で次のレストランがお得になります(割引やデザートプレゼントなど)。当館FAAMカフェ、小さな韓国「あぶろ」大名店・博多店

観覧料:一般1,000(800)円、高大生800(600)円、中学生以下 無料

※本展では、会期中に一部作品を展示替えします。

※()内は、前売り、20人以上の団体、満65歳以上で年齢確認のための健康保険証や運転免許証等の提示者の料金。 ※次の方は無料になります。身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳の提示者本人と介護者1人、特定医療(指定難病)受給者証・特定疾患医療受給者証・先天性血液凝固因子障害等医療受給者証・小児慢性特定疾患医療受給者証の提示者本人。 ※前売券は、ローンチケット(Lコード88810)、アトリエ(福岡アジア美術館内)で発売



※本展会期中(12/17～2/2)、本展観覧券でご覧いただけます。

同時開催中のコレクション展

韓国アート1965—2015 12/17(木)—4/5(火)
冬のおとなミュージアム:秘密—かくす・のぞく・あばく 12/17(木)—4/5(火)

市営地下鉄・中洲川端駅 下車すぐ(6番出口)
西鉄バス——川端町博多駅前 下車すぐ
博多座・博多アジア美術館前(ぐりんバス)下車すぐ
車——太宰府方面から 都市高速千代ランプより 7分
北九州方面から 都市高速呉服町ランプより 5分
※リバレイン地下駐車場(有料)へは、昭和通りの中央分離帯からお入りください。

福岡アジア美術館
Fukuoka Asian Art Museum
〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7・8階
7-8F Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, 812-0027 Japan
Tel: 092-263-1100 Fax: 092-263-1105 http://faam.city.fukuoka.lg.jp/